

## 平成 23 年度健康づくり推進協議会会議録

### 1 開催日時

平成 24 年 3 月 22 日(木) 午後 2 時～午後 2 時 45 分

### 2 開催場所

成田市赤坂 1 丁目 3 番地 1

成田市急病診療所会議室

### 3 出席者

(委員)

鈴木薫委員、富澤圭一委員、國保能彦委員、小幡晋彦委員、佐久間イチ子委員、小森栄子委員、鳥羽義男委員

(事務局)

古関健康こども部長、相川健康増進課長、野平主幹、鶴澤副主幹、小野主査、三橋主査、小倉主査

### 4 欠席者

(委員)

真鍋溥委員、石井通子委員

### 5 議題

(1) 議案第 1 号 平成 24 年度健康増進課事業計画 (案) について

(2) その他

### 6 議事の内容

(1) 議案第 1 号 平成 24 年度健康増進課事業計画 (案) について

別添資料により事務局より説明。

富澤委員 5 歳児健康診査に教育センター職員が新たに加わっているのは。

三橋主査 次年度就学時健診の対象になるので、教育センターとのつながりを持つことにより、就学時健診がスムーズに進むように配置をお願いしました。

古関部長 学校でも支援学級等の人数が増えてしまうと先生の対応が間に合わない場合もあるので、あらかじめ解っていれば対応できるので、教育センター職員に入っただくことにした。

國保委員 5 歳児健診の対象は幼稚園、保育園に行っていない子どもが対象なのか、アンケート調査は 5 歳児全員に送るのか。

三橋主査 5 歳児全員が対象で保育園、幼稚園に行っている子は、保護者へ問診票やアンケート調査により行い、アンケート調査票等を健康増進課に返却していただく。未就園児については健診を行い、就園児については発達のことと心配のある保護者は、母子相談事業の中で相談していただくよう考えている。

國保委員 私立の幼稚園も必ず行っているのか。法律で定められているのか。

三橋主査 幼稚園については、学校教育法で定められていて全員行っていた。保育園についても内科、歯科すべてに行っている。成田市内については、すべて行っていた。

國保委員 発達障害の健診による把握はどこの幼稚園も準備はできているのか。

三橋主査 加配という制度があり、障害を持っている子何人かに対してひとりの保育士を配置できることをベースに考えている。

國保委員 私立幼稚園がどういう障害を持った子どもであるか把握しているかと言うと把握ができていない。どういう障害を持った子なのか自閉症、LTD、精神薄弱なのか把握していない。5歳児の未就園の子どもを対象にしているが、就園している子どももあやしいところもある。その後、就学時健診があるので、いいのかも知れないが、どこの幼稚園でも全部やっていただきたい。

三橋主査 子ども発達支援会議の中で、子どもの見方と気になる子どもの対応を今までも市内の各幼稚園、保育園の先生方を対象に勉強会を実施している。来年度は5歳児健診を対象とした発達の見方をテーマに勉強会を実施する。また、子ども発達支援センターでも保育園、幼稚園を対象に別の勉強会を実施している。来年度は発達障害の勉強会を持てるようにして、子育て支援課と健康増進課で力を入れて実施していきたい。

市内全体のアンケート結果によっては保育園、幼稚園の先生方に親子さんと同じ発達に対するアンケート調査を実施していただき、親子さんの心配と幼稚園での心配を一緒に見ることができるよう市内の各幼稚園、保育園の先生方をお願いする会議を秋に開催した。

國保委員 指導就学委員会にここで得た情報を教育委員会に必ず上がるようにしていただきたい。

鳥羽委員 こんにちは赤ちゃん事業について、赤ちゃんお誕生連絡票の未提出者には保健師が全戸訪問を実施しているとのことですが、未提出者はどの位いるのか。

三橋主査 毎月少ないと20名位、多いと30数名で40名まではいかない。

近くを回る担当が担当地区以外の所も協力して行っているが、不在のところも多く、連絡票を置いてくるがなかなか連絡がつかない。

國保委員 高齢者福祉課から医師会に話があって痴呆患者のほりおこしを行い、医療につなげる話は聞いているのか。

古関部長 担当課に確認します。

相川課長 健康増進の関係で事業計画を作成しているが、福祉部の介護保健事業の中の事業であると思います。

原案どおり承認

## (2) その他

事務局、委員ともに提案案件なし

**8 傍聴**

(1) 傍聴者

なし

**10 次回開催日時(予定)**

平成24年7月予定